

仙台保問研 3 月例会案内

～被災地の子どもたちと保育所の今を語る～

東日本大震災から 5 年目を迎えました。あの時に、私たちは「どんな時も子どもたちの命を守り続ける責任」と「地震や津波にしっかりと備え、一人一人が、自分でその場の状況を判断し行動するチカラを身につけることの大切さ」を心に刻みました。

それぞれが考え、感じたことを語れない苦しさのなかから、皆で本当に少しずつ進んできました。震災が大きな共通体験としてあったからです。しかし、共通体験だった震災を「知らない」新しい保育者も増えてきました。

被災された方々、子どもたちに心を寄せていきたいという思いを抱えながら、時の流れの中で、私たちはどこに向かい、何をしたいのか立ち止まってしまいがちです。仙台保問研として、保育者として一人一人の中にどんな変化があるのでしょうか。

記憶は確かに薄れていきますが、震災から学んだことを、一人一人が自分の中で振り返り、大事なことを自分の言葉で伝え続けていく力を学び合いたいと企画しました。

今回は 6 月の全国集会の特別講座で、講話される亘理町の鈴木由美子所長から、5 年間の取り組みや、今だから見えることや語れることを、スライドを見ながらじっくりとお聞きしたいと思います。大変にお忙しい中、「仙台保問研の皆さんだから」と、本当に貴重なお時間を作っていただきました。新たな 3・11 を迎える今、鎮魂の祈りと共に、未来を見つめながら一緒に学び合いましょう。

『被災地の子どもたちと保育所の今』

亘理町吉田保育所

鈴木由美子氏

日程 3 月 9 日（水）PM19:00～

会場 シルバーセンター

問い合わせ先

仙台保育問題研究会事務局（柳生もりのこ保育園内）

〒仙台市太白区柳生字北 20-1

TEL（022）741-5381

